



## NEWS: Beaujolais Nouveaux 2020



「世界全体が先例のない日々を経験しています。恐らく我々のこれまでの多くの習慣を変えてしまうほどの。しかしながら、ブドウの苗木はそんなことをものともしていない。成長しつづける様子はむしろよりいっそう愛すべきもので、早熟なブドウの収穫日を予感させます。おそらく8月後半になるでしょう。現時点では、早めに実が熟するという点で、2000年や2011年と同様です。それらはよいヴィンテージであったし、今年もまた同様になるよう、ベストを尽くすつもりです。

11月第3木曜日のボジョレー・ヌーヴォー解禁は、2020年でいえば11月19日ということになりますが、それは毎年のハイライトです。我々の地域について、我々のワイン、クリュ・ボジョレーやボジョレーの村々について話し、とりわけ、解禁されたばかりの、新鮮で、新しいボジョレー・ヌーヴォーについて語り合います。ボジョレー・ヌーヴォーのヴィンテージはいつも話題の中心なのです。



この例年よりもかなり複雑な世界的な状況において、ボジョレーの生産者とネゴシアンは、“2020年ヴィンテージのボジョレー・ヌーヴォー”を柔軟に供給することを決めました。以下がその主要な2つの措置です。

- **ワインは2020年10月5日から、生産者の元を離れることが許可される。**これは例年より1週間早いものである。早熟な年はこれに実に適しており、したがって醸造の品質は保証されます。
- 例外として、**フランス国内から他国へ輸出可能とする正確な日付は、2020年10月12日とし、解禁日の38日前とする。**(解禁日20日前の10月31日としていた2019年から変更)

この2つの日付の間にあたる1週間という期間は、高い品質を維持しながら、アッサンブラージュを行い、瓶詰し、世界中に出荷するための準備期間です。

我々はこれらの措置が、良好な商業的関係性を維持するため、物流における必要な柔軟性をもたらすことを期待します。そしてそれが、個々が抱える現状のストレスと緊張を和らげると思います。」

ドミニク・ピロン / ボジョレーワイン委員会代表

### このリリースについてのお問い合わせ

ボジョレーワイン委員会 日本事務局

[beaujolais@audacejapan.com](mailto:beaujolais@audacejapan.com)

Follow Beaujolais wines



[www.beaujolais.com](http://www.beaujolais.com)

#vinsdubeaujolais

© Photo credits: Etienne Ramousse, Inter Beaujolais

**Beaujolais photo library:** <https://extranet.beaujolais.com/phototheque-categories>

Photo credits mentioned on each photo.

### ボジョレーワインについて

リオンとブルゴーニュ地方の間に位置し、ボジョレー地方のワイン畑は14,500ヘクタールに及び、ボジョレーの12のアペラシオンには2,000以上のドメーヌと9つの協同組合醸造所、200ものネゴシアンが展開しています。ボジョレーの12のアペラシオンは、その華やかなワインに際立って表れています。北に位置し100%赤ワインを扱うクリュ、プレイイ、シェナ、シルーブル、コートドプレイイ、フルーリー、ジュリエナ、モルゴン、ムーランナヴァン、レニエ、サンタムール。赤、白、ロゼの3色と新酒を扱うボジョレー、ボジョレーヴィラージュです。